

2017年2月期 第1四半期 (2016年3月1日～2016年5月31日)

決算説明資料



© 2016 TOHO CO.,LTD.

2016年7月15日



東宝株式会社

阪急阪神東宝グループ

2017年2月期 第1四半期 営業概況

	2016年2月期 (2015年3月～5月)	2017年2月期 (2016年3月～5月)	前年同四半期比	増減率
営業収入	57,251百万円	57,797百万円	545百万円	1.0% ↑
営業利益	11,146百万円	12,821百万円	1,674百万円	15.0% ↑
経常利益	11,847百万円	12,894百万円	1,046百万円	8.8% ↑
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,437百万円	8,708百万円	1,271百万円	17.1% ↑

【第1四半期の営業概況】

主力の映画事業において、当社配給のアニメ作品（ドラえもん・名探偵コナン）がシリーズ新記録となる興行収入を記録、TOHOシネマズを中心とした映画興行も前年同期を上回る好成績となった。

演劇事業では「Endless SHOCK」や「1789 バスティーユの恋人たち」が大盛況となり、不動産事業も「新宿東宝ビル」のフル稼働やスバル興業による道路事業の好調が寄与し、大幅増益となった。

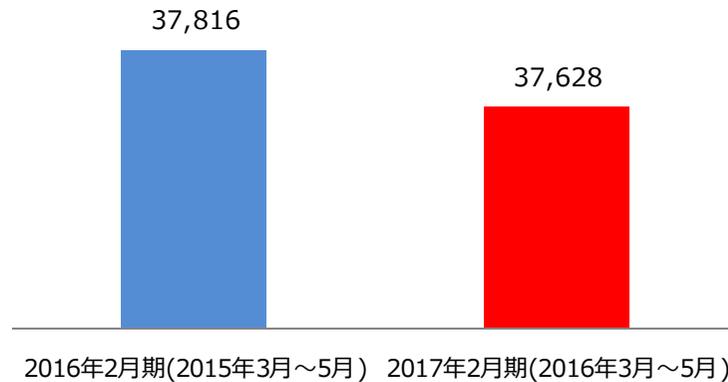
以上の通り、「映画・演劇・不動産」の三本柱が揃って増益、第1四半期として過去最高益を記録。

セグメント別業績一覧

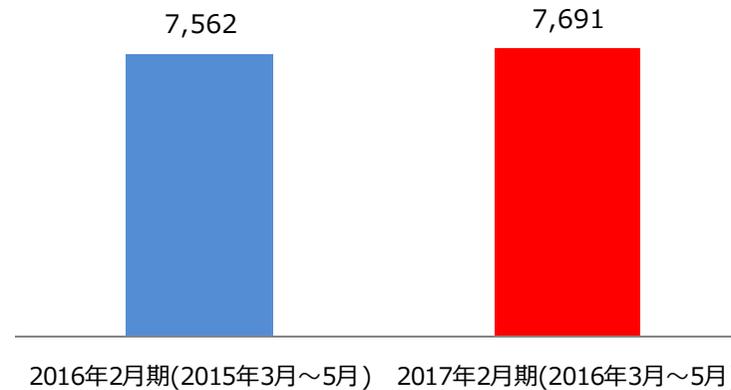
	営業収入 (単位: 百万円)			営業利益 (単位: 百万円)		
	2016年2月期 (2015年3月~5月)	2017年2月期 (2016年3月~5月)	増減率(%)	2016年2月期 (2015年3月~5月)	2017年2月期 (2016年3月~5月)	増減率(%)
①映画事業	37,816	37,628	-0.5% ↓	7,562	7,691	1.7% ↑
映画営業	13,158	12,086	-8.1% ↓	3,921	3,239	-17.4% ↓
映画興行	18,265	18,787	2.9% ↑	2,479	2,978	20.1% ↑
映像事業	6,392	6,754	5.7% ↑	1,162	1,473	26.8% ↑
②演劇事業	3,118	3,196	2.5% ↑	654	696	6.4% ↑
③不動産事業	16,064	16,731	4.2% ↑	3,734	5,230	40.0% ↑
不動産賃貸	8,183	8,185	0.0% ↑	2,752	3,810	38.4% ↑
道路事業	5,284	5,904	11.7% ↑	723	1,160	60.4% ↑
不動産保守・管理	2,596	2,641	1.7% ↑	258	258	0.0% ↓
④その他事業	251	241	-4.2% ↓	14	34	143.6% ↑

セグメント別業績【映画事業】

営業収入



営業利益



(単位：百万円)

業績分析 (増減要因)

- 映画営業事業では、「名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)」(興行収入62.1億円)がシリーズ記録を大幅に更新し、「映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生」(興行収入40.7億円)も新シリーズ新記録となるなどアニメ作品が昨年に続き高稼働。「暗殺教室～卒業編～」(興行収入34.8億円)、「64-ロクヨン-前編」(興行収入18.3億円)等の実写作品も好調に推移するも東宝東和作品は前期のようなヒットに恵まれず、減収減益。(※興行成績は6月末時点)
- 映画興行事業では、昨年4月にオープンした3サイトが順調に稼働。さらに4月25日には「TOHOシネマズ 柏(9スクリーン、1488席)」がオープン。結果、当社グループは全国に74サイト670スクリーンを有し、興行網の強化によって収益増に貢献。好調な東宝作品に加えて、洋画では「ズートピア」(ウォルト・ディズニー配給)がGWを牽引する大ヒットとなり、増収増益。
- 映像事業では、アニメ製作事業でTVアニメ「僕のヒーローアカデミア」「三者三葉」等に製作出資。出版・商品事業でアニメ映画を中心にパンフレット等の売上が好調。

映画 —主要稼働作品—

当社第1四半期配給作品 興行成績ベスト5 ※2016年6月末時点

作品名	公開月	興行収入
『名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)』	2016年4月	62.1億円
『映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生』	2016年3月	40.7億円
『暗殺教室～卒業編～』	2016年3月	34.8億円
『映画クレヨンしんちゃん 爆睡! ユメミーワールド大突撃』	2016年4月	20.5億円
『64-ロクヨン-前編』	2016年5月	18.3億円



©2016 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会



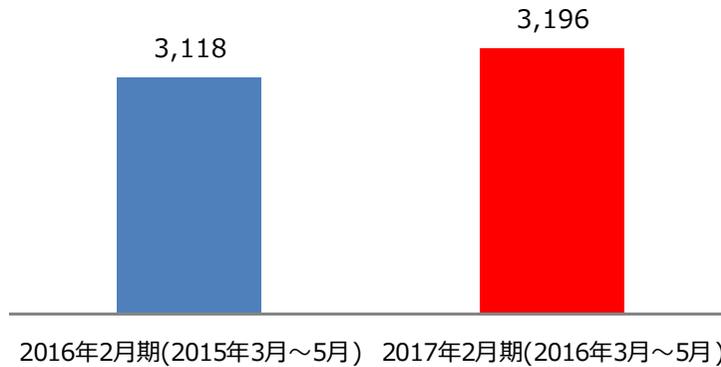
©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2016



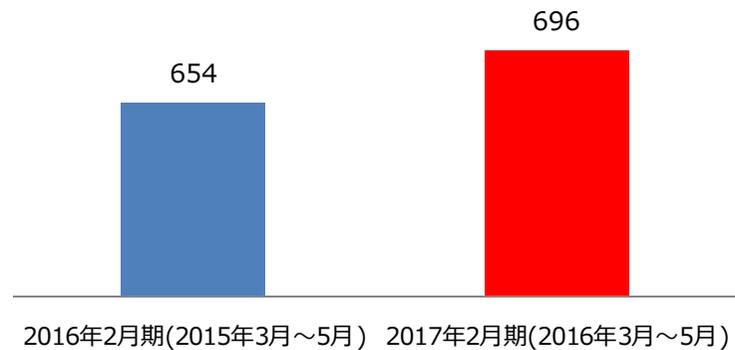
©2016フジテレビジョン 集英社 ジェイ・ストーム 東宝 ROBOT
©松井優征／集英社

セグメント別業績【演劇事業】

営業収入



営業利益



(単位：百万円)

業績分析 (増減要因)

- 帝国劇場では「Endless SHOCK」(3月公演)が全席完売、新作「1789 バスティーユの恋人たち」(4月～5月公演)も大入りとなり、「天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～」(5月公演)も盛況。
- シアタークリエでは「ピアフ」(3月公演)、「エドウィン・ドルードの謎」(4月公演)が盛況、「ジャニーズ銀座2016」(4月～5月公演)が全席完売とバラエティに富んだラインナップが好調に稼働。

演劇事業 —主要稼働作品—



2016年4月～5月帝国劇場公演
『1789 バスティーユの恋人たち』



2016年5月帝国劇場公演
『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』



2016年3月～4月シアタークリエ公演
『GEM CLUB』



2016年4月シアタークリエ公演
『エドウィン・ドルードの謎』

セグメント別業績【不動産事業】

営業収入

16,064

16,731

2016年2月期(2015年3月～5月) 2017年2月期(2016年3月～5月)

営業利益

3,734

5,230

2016年2月期(2015年3月～5月) 2017年2月期(2016年3月～5月)

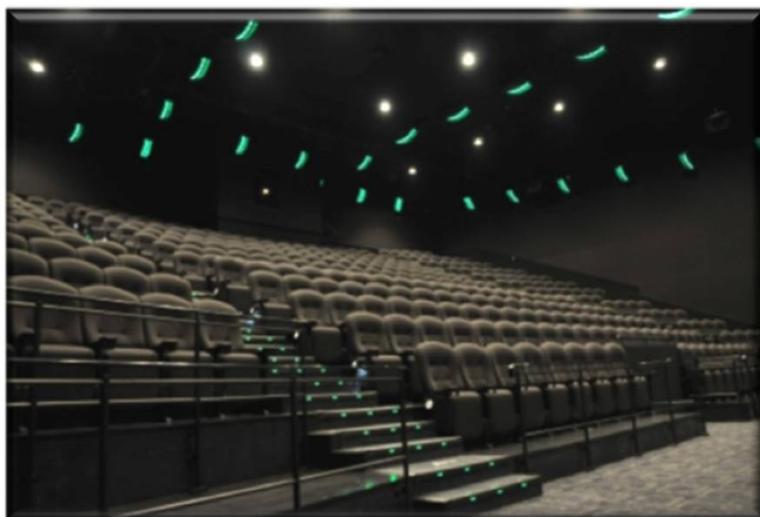
(単位：百万円)

業績分析 (増減要因)

- 不動産賃貸事業では、全国に有する賃貸物件が堅調に稼働したほか、昨年4月に開業した「新宿東宝ビル」がフル稼働し、増益に大きく貢献。東宝スタジオは、当社配給作品の撮影やTV・CM撮影の誘致によりステージレンタルが順調に稼働。
- 道路事業では、スバル興業(株)が道路維持や補修工事で積極的な営業活動を行ったことに加え、原価管理などの業務の効率化等を進めて利益向上につとめ、大幅な増収増益。
- 不動産保守・管理事業では、(株)東宝サービスセンター、東宝ビル管理(株)が労務費や資材価格の高騰など厳しい経営環境が続く中、新規受注とコスト削減に取り組み、堅調に推移。

SCREEN & STAGE TOHO LINE UP

映画 & 演劇 話題の待機作品



MOVIE LINE UP



2016年7月29日（金）全国東宝系にてロードショー

2016年、ゴジラ“誕生”

総監督：庵野秀明（「エヴァンゲリオン」）が描く、まだ誰も見たことがないゴジラ。

『シン・ゴジラ』

脚本・総監督：庵野秀明

監督・特技監督：樋口真嗣

出演：長谷川博己 竹野内豊 石原さとみ

©2016 TOHO CO., LTD.



2016年8月6日（土）全国東宝系にてロードショー

シリーズ累計発行部数100万部を誇る児童文学の不朽の名作。

超大型フル3DCGアニメーション映画になって登場！

『ルドルフとイッパイアッテナ』

原作：「ルドルフとイッパイアッテナ」「ルドルフともだちひとりだち」（斉藤洋・作 杉浦範茂・絵／講談社刊）

監督：湯山邦彦 榊原幹典

声の出演：井上真央 鈴木亮平 八嶋智人 古田新太

©2016「ルドルフとイッパイアッテナ」製作委員会



2016年8月26日（金）全国東宝系にてロードショー

今、最も注目を集めるアニメーション映画監督・新海誠

少年と少女の奇跡の物語を美しい色彩の描写と圧倒的なスケールで紡ぎ出す。

『君の名は。』

原作・脚本・監督：新海誠 作画監督：安藤雅司

キャラクターデザイン：田中将賀 音楽：RADWIMPS

声の出演：神木隆之介 上白石萌音 長澤まさみ 市原悦子

©2016「君の名は。」製作委員会

STAGE LINE UP



2016年8月帝国劇場公演
『王家の紋章』



2016年7月シアタークリエ公演
『ジャージー・ボーイズ』



2016年8月
シアタークリエ公演
『頭痛肩こり樋口一葉』



2016年7月~8月
東京芸術劇場プレイハウス公演
『マイ・フェア・レディ』

業績予想

2017年（平成29年）2月期連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円・銭
第2四半期 （累計）	111,210	-10.2%	16,770	-31.1%	17,360	-32.2%	11,450	-27.6%	62.62
通期	216,700	-5.5%	33,000	-18.9%	34,400	-19.0%	22,300	-13.7%	121.96

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではございませんのでご了承ください。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関するお問い合わせ
東宝株式会社
総務部 広報・IR室
TEL 03-3591-1303